

令和元年 第11回委員会会議録	
1	開催年月日 令和元年5月20日（月）
2	開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時08分
3	場 所 福岡市選挙管理委員室
4	出席委員 津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員
5	事務局職員 事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長，書記2名
6	傍聴者 なし
7	議 題
	（1）報告事項
	① 選挙人名簿から抹消する者の数について
	② 在外選挙人名簿登録者数について
	③ 福岡市脇山財産区議会議員一般選挙の結果について
	④ 第19回統一地方選挙における管理執行上問題となった事項について
	⑤ 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部改正について
	（2）その他
	次回以降の委員会の開催予定日時
	・令和元年6月5日（水）午前10時30分
	・令和元年6月20日（木）午前10時30分
	・令和元年7月3日（水）午前10時30分
8	議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）
	（1）報告事項
	報告事項①～⑤について，事務局から資料の説明・報告を行った。
	【質疑等】
	○ 入部出張所の二重投票の件は，知事は県議や市議より投票できる期間が長く，入場整理券が届いておらず，氏名や誕生日により本人確認を行っているため，誤りが発生したということか。
	▲ 知事のみを投票していた場合，知事は「投票済」と受付のパソコンに表示されることになっているが，受付の担当者が見落とし，投票用紙を二重に交付したものである。
	○ 管理執行上問題となった事項については，4件中3件が，システム上投票できないことが表示されているにもかかわらず，投票用紙を交付するというミスである。今までにもこのようなケースは発生しているのか。
	▲ このようなケースは過去にも発生している。

○ 選挙当日に雇用される臨時的任用職員が受付を担当しているので、誤りが発生しやすいのではないか。選挙の際に臨時的に職員を配置することは当然考えられることであるが、非正規の流れを見直す必要があるのではと思う。
臨時的任用職員への研修制度のあり方、通常とは違う対応の場合は、正規職員への相談を徹底するなど、今後の対策が必要だと思う。
○ パソコンの画面に表示されるだけでなく、音が鳴るなどシステムのバージョンアップなどができると思う。
○ 他都市でも同じような事案は発生しているのか。
▲ 他都市においても同様の事案は発生している。
○ 投票立会人と投票管理者の選任要件の緩和とはどのようなことか。
▲ 投票立会人については、これまで各投票区における選挙人名簿に登録された者の中から選任する必要があったが、選挙権を有する者の中から選任できるようになった。
投票管理者については、これまで当該選挙の選挙権を有する必要があったが、選挙権を有する者の中から選任できるようになった。福岡市においては、市の職員が投票管理者を担当しており、市長選などは市内居住者しか投票管理者になることができなかったが、要件の緩和により、市外居住者でも担当できるようになる。
○ 町内会に実施するアンケートの中で、投票立会人について荷重に感じしており、時間を区切るなど負担にならないように検討して欲しい。
▲ 投票立会人については、長時間にならないよう午前と午後で交代するようになっている。
(2) その他
次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。